

2025年度 業績の概要

※計数はすべて単体ベースで表示しています。

財務諸表・主要な経営指標の推移

◆ 第76期貸借対照表

(2026年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現金	5,087	預金積金	665,919
預け金	102,184	譲渡性預金	5,890
買入金銭債権	5,000	借入金	1,490
金銭の信託	10,999	コールマネー	33,423
有価証券	229,019	その他負債	2,160
貸出金	354,582	退職給付引当金	1,140
外国為替	38	その他の引当金等	375
その他資産	5,616	再評価に係る繰延税金負債	664
有形固定資産	10,575	債務保証	429
無形固定資産	118	負 債 の 部 合 計	701,493
繰延税金資産	2,225	(純 資 産 の 部)	
債務保証見返	429	出資金	1,406
貸倒引当金	△ 4,941	利益剰余金	43,188
		処分未済持分	△ 41
		会員勘定合計	44,553
		その他有価証券評価差額金	△ 25,914
		土地再評価差額金	804
		評価・換算差額等合計	△ 25,109
		純 資 産 の 部 合 計	19,443
資 産 の 部 合 計	720,937	負債及び純資産の部合計	720,937

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

◆ 第76期損益計算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	11,447,986
資金運用収益	10,647,176
役務取引等収益	663,488
その他業務収益	77,499
その他経常収益	59,822
経常費用	31,895,930
資金調達費用	1,648,533
役務取引等費用	896,479
その他業務費用	22,761,872
経費	6,077,696
その他経常費用	511,348
経常損失	△ 20,447,944
特別利益	—
特別損失	119,183
税引前当期純損失	△ 20,567,127
法人税等合計	△ 1,608,650
当期純損失	△ 18,958,477

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

◆ 主要な経営指標の推移

(単位:百万円)

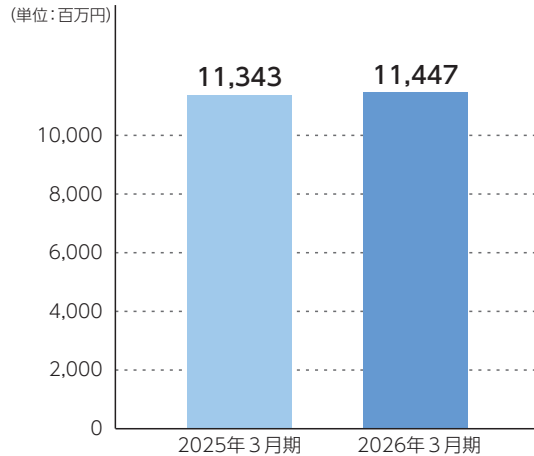
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
預金積金残高	677,329	676,018	655,919
貸出金残高	337,371	350,890	354,582
経常収益	10,893	11,343	11,447
コア業務純益	2,333	2,213	2,346
コア業務純益 (投資信託解約損益除く)	2,333	2,202	2,346
経常利益	2,038	942	△ 20,477
当期純利益	1,115	633	△ 18,958
出資金	1,488	1,448	1,406
出資に対する配当金 (出資1口当り):(円)	20	20	20
自己資本比率	20.59%	20.86%	12.97%
不良債権比率	4.37%	4.35%	4.46%

利益の状況

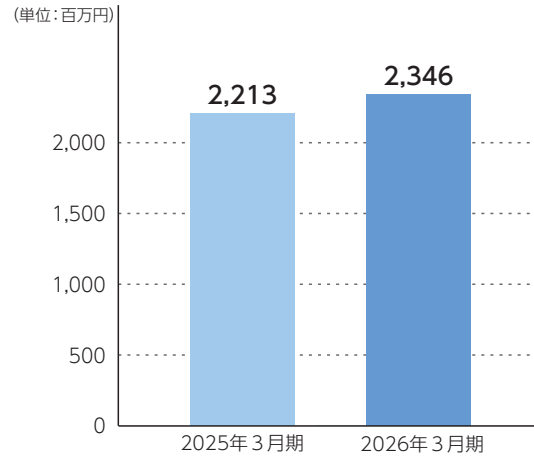
市場金利が上昇する中、債券の評価損の削減と有価証券利回り向上のため、有価証券ポートフォリオの再構築に取り組んでいます。2025年度は評価損が拡大した国債や地方債などを売却したことで、189億円の赤字決算となりました。

一方、貸出金が順調に増加したことやポートフォリオ見直しの効果もあり、金融機関本来の事業活動のみの利益を表すコア業務純益は前期末比増加しました。なお、2026年度は10億円以上の当期純利益を計上できる見通しです。

◆ 経常収益



◆ コア業務純益



【用語のご説明】

● 業務純益

預金積金利息などの資金調達費用をはじめとする業務費用から金銭の信託運用見合費用を控除した額を、貸出金利息などの資金運用収益をはじめとする業務収益から差し引いて算出するもので、信用金庫の主な業務によって得た純利益を表しています。

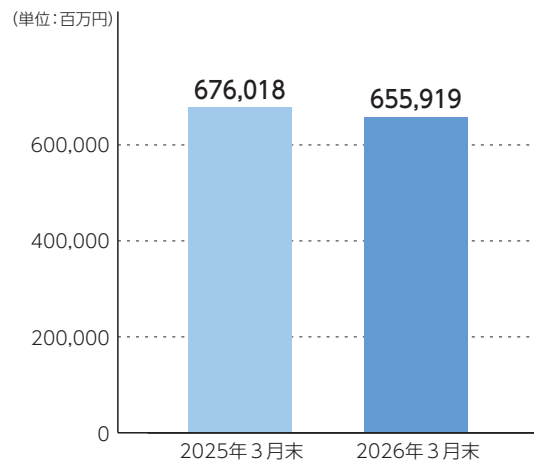
● コア業務純益

業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加え、国債等債券5勘定戻(国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却)を控除したもので、金融機関本来の事業活動のみの利益を表しています。

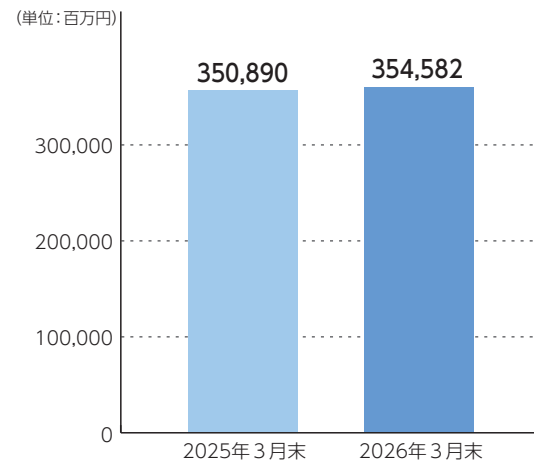
預金・貸出金の状況

預金残高は、個人預金が減少したことなどから、前期末比200億円減少の6,559億円となりました。貸出金残高は、船舶融資を中心に増加し、前期末比36億円増加の3,545億円となりました。

◆ 預金・積金残高



◆ 貸出金残高



2025年度 業績の概要

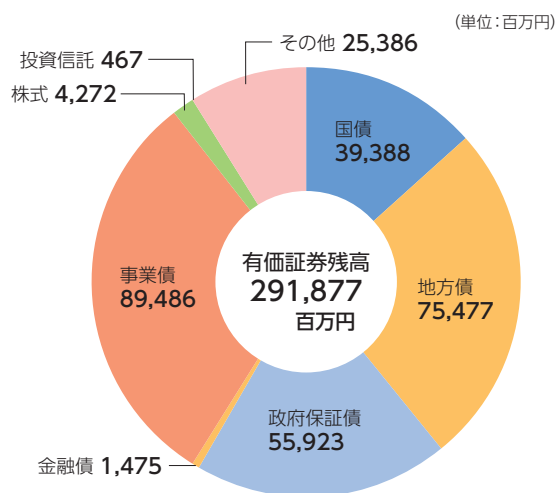
※計数はすべて単体ベースで表示しています。

有価証券の状況

評価損が拡大した債券を売却するなどポートフォリオの再構築に取り組んでいます。市場金利が上昇する中、債券残高を減少させるとともに、自己資本額や収益の状況等を見ながら投資信託を購入するなどリスクの分散に取り組んでいます。

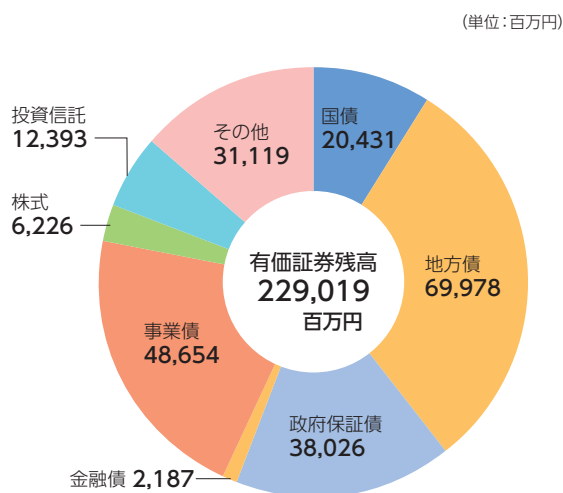
◆ 有価証券残高構成

【2025年3月末】



(注)「その他」は、「外国証券」及び「その他の証券」です。

【2026年3月末】



(注)「その他」は、「外国証券」及び「その他の証券」です。

◆ 有価証券の時価等情報

■ その他有価証券

(単位:百万円)

区 分	貸借対照表計上額	取得原価 (償却原価)	評価差額
債 券	179,128	207,733	△ 28,604
国 債	20,431	28,277	△ 7,845
地 方 債	69,978	78,547	△ 8,569
政府保証債	38,026	46,301	△ 8,274
金 融 債	2,187	2,200	△ 12
事 業 債	48,504	52,407	△ 3,902
株 式	5,564	2,175	3,389
投 資 信 託	12,393	12,312	81
外 国 証 券	26,003	26,800	△ 796
そ の 他 の 証 券	95	77	17
合 計	223,186	249,099	△ 25,913

(注) 1. 貸借対照表計上額は、3月末日における市場価格等に基づいています。
2. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含みません。

■ 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

区 分	貸借対照表計上額	時 価	評価差額
事 業 債	150	147	△ 2
外 国 証 券	5,000	4,899	△ 100
合 計	5,150	5,046	△ 103

(注) 時価は、3月末日における市場価格等に基づいています。

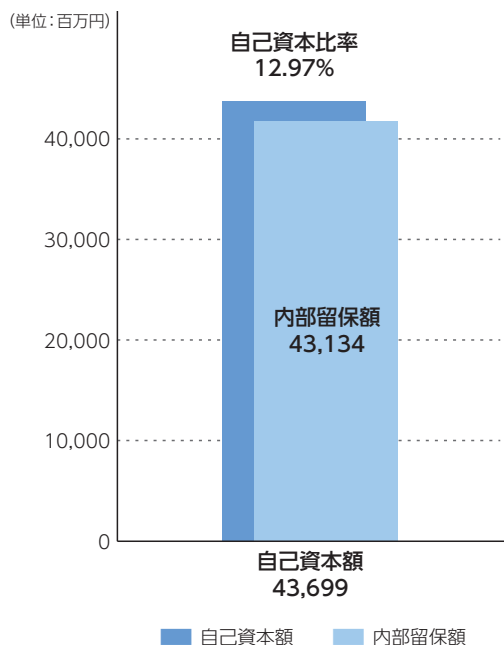
◆ 有価証券の関連指標

(単位:百万円)

	2025年3月末	2026年3月末	増 減
債券の平均 残 存 年 数	11.30年	8.68年	△2.62年
有 価 証 券 利 回 り	0.61%	0.79%	0.18%
その他有価 証券評価損益	△ 36,816	△ 25,913	10,902

自己資本の状況

赤字決算となったことで自己資本比率は低下し12.97% (前期末比△7.89%) となりましたが、国内基準(4%)を超える十分な自己資本比率を維持しております。



(単位:百万円)

	2026年3月末
自己資本 (A)	43,699
うち内部留保	43,134
リスク・アセット等 (B)	336,800
自己資本比率 (A/B)	12.97%

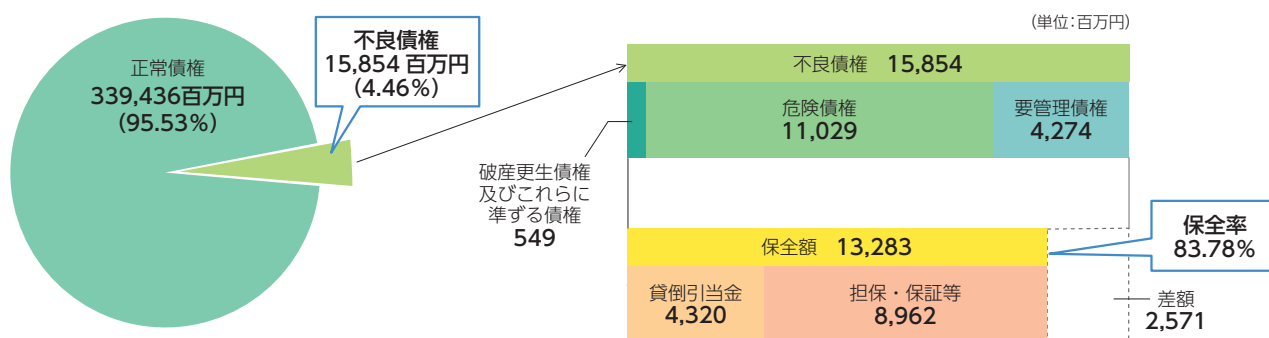
【用語のご説明】

●自己資本比率

リスクに応じて計算された資産(=リスク・アセット)に対する自己資本の割合を表すもので、金融機関の健全性を示す重要な指標とされています。

金融再生法に基づく開示債権の状況

3月末の金融再生法に基づく開示債権額(不良債権額)は15,854百万円、不良債権比率は4.46%となりました。不良債権に対しては、担保や保証、貸倒引当金で83.78%をカバーしています。



【用語のご説明】

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態・経営成績が悪化し、契約に従った債権元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

●要管理債権

「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

●正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。